

市会議第10号

おたふくかぜ，B型肝炎，ロタウイルスの3ワクチン定期接種化に関する意見書の提出について

おたふくかぜ，B型肝炎，ロタウイルスの3ワクチン定期接種化に関する意見書を次のとおり提出する。

平成26年3月17日提出

提出者 市 会 議 員 全 員

平成 年 月 日

衆議院議長，参議院議長，内閣総理大臣，  
総務大臣，厚生労働大臣 宛て

京 都 市 会 議 長 名

おたふくかぜ，B型肝炎，ロタウイルスの3ワクチン定期接種化に関する意見書

厚生科学審議会の感染症分科会予防接種部会において，一昨年5月に予防接種制度の見直し（第二次提言）がなされ，①子宮頸がん予防，②ヒブ，③小児用肺炎球菌，④水痘，⑤おたふくかぜ，⑥成人用肺炎球菌及び⑦B型肝炎の7ワクチンについて，医学的・科学的観点から広く接種を促進することが望ましいと明記された。

しかしながら，昨年4月の予防接種法改正では，上記①～③の3ワクチンのみが定期接種化されるにとどまり，衆議院及び参議院の厚生労働委員会においては，平成25年度末までに，残る上記④～⑦の4ワクチンの定期接種化の結論を得るよう努めることとの附帯決議がなされている。これら4ワクチンのうち，今般，政府は，上記④及び⑥については予防接種法に基づく定期接種に加える方針を固め，本年秋から定期接種化が実施される見通しとなった。

よって国におかれては，少子化対策のため，また，子どもたちを感染症から守るため，そして，総合的な医療費削減の観点からも，上記⑤及び⑦の2ワクチンに加え，ほぼ全ての乳幼児が感染するといわれるロタウイルスのワクチンも併せて定期接種化を実現されるよう強く求める。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。